

古典に学ぶ「徒然草」

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力、主体性

日時 令和4年 9月 16日(金) 5校時
学年 第2学年 男子1名, 女子9名, 計10名

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領国語編〔知識、技能〕(3)「我が国の言語文化に関する事項」イ「現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること。」「思考力、判断力、表現力」〔C読むこと〕(1)オ「文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすること。」を受けて設定したものである。

「徒然草」は鎌倉時代の代表的随筆文学であり、筆者の豊かな感性と鋭い観察とによって、身の回りのさまざまな出来事や自然、人生等について、簡潔な文章でまとめられている。それは筆者兼好法師の主観的な思いを綴ったものではあるが、それを読むことはそのまま当時の人々のものの見方、考え方を知ることにつながる。兼好法師の人間観や教訓は、現代の私たちの日常生活や社会生活の中で自己の体験と重なったり、生き方の参考になったりするものが多く、現代の生活とは違った状況で起きた出来事や考え方に触れることによって日常生活を見つめ直し、考えを深めることにつながると考える。また、そのことが我が国の伝統的な言語文化への関心を高めることにもなると考える。

(2) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として、以下の資質・能力の育成に重点を置いている。

【思考力・判断力・表現力】	① コミュニケーション能力	② 課題発見・解決力
【学びに向かう力・人間性】	③ 主体性	④ 自己理解

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の2点に重点を置くものとする。

【思考力・判断力・表現力】 ②課題発見・解決力

現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読み、古典に表れたものの見方や考え方を知り、自分の考えを広げたり深めたりすることを通して課題発見・解決力を養う。

【学びに向かう力・人間性】 ③主体性

進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えを伝え合うことを通して主体性を養う。

(3) 生徒観（調査結果から見る課題）

令和4年度児童生徒学習意識調査生徒質問紙

教科の学習に関する調査【国語】	肯定	否定
勉強は好き	66.7	33.3
授業はよくわかる	88.8	11.2

5月実施NRT通過率【大領域別集計】

内容	全国通過率	本校通過率
話すこと・聞くこと	63.3	△67.3
書くこと	62.6	△66.0
読むこと	49.6	△52.2

5月実施NRT通過率【小問別集計】

小問内容	全国通過率	本校通過率
古文：音読の理解	63	▼44
古文：詳細読み取り	51	▼44
古文：主題読み取り	38	▼22

生徒古典アンケート結果

質問項目	肯定	否定
古典の学習は好き	63	37
古典の学習内容がわかる	75	25

本学年における令和4年度生徒学習意識調査生徒質問紙では、「国語の授業はよくわかる」と回答した生徒は約9割で、NRT調査においては3領域ともに全国通過率を上回り、全国比105という結果であった。ところが、同NRT調査結果を小問別集計で見ると、古文の正答率は全国通過率を下回っており、古文の読解に課題があることが明確となった。

本学級は、非常に落ち着いて真面目に学習に取り組み、文字も丁寧で話を聞く態度も良好である。ただし、受け身の姿勢が強く、言われたことは着実にできるが、進んで発言したり、新たな課題を見つけたりすることには消極的である。アンケート結果によると、「古典の勉強が好き」という肯定的評価は63%、「古典の学習内容がよくわかる」と回答した生徒は75%であった。それにもかかわらず、古文領域の通過率結果が低迷していることから見えてくる課題は、古文の学習が現代仮名遣いに直したり現代語訳したりできるといった基本的な学習事項の定着にとどまり、さらに発展的な学習に深めることができていないということだと考える。

(4) 指導観(指導改善のポイント)

本単元では「徒然草」第五十二段「仁和寺にある法師」を取り上げ、音読及び現代語訳で内容を読み取り、仁和寺の法師が起こした決定的な失敗について確認する。学習を展開するにあたっては、法師が「思い違いした理由」がわかる根拠を見つけ出し、その理由を考えさせることによって内容読解を深めさせる。そして、法師の失敗は古典作品の中だけのものではなく、現代の自分たちにもあり得る身近なこととしてとらえさせたい。また、最後の一文に書かれた筆者の考えを現代語訳の理解で終わらせるのではなく、自分ならどのように行動するかを考えさせることによってより深く理解させたい。その際に「わたしなら」で考えられる内容は、そのまま仁和寺の法師の反省点につながり、そうしなかった仁和寺の法師への非難あるいは同情の気持ちを感じ取らせることで、話のおもしろさを味わうことができると考える。作品を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、生徒たちが自分なりの目線で捉えることを通して、本学級生徒の課題である「考えを広げたり深めたりすることができる」学習としたい。そして、筆者が最後に伝えたかった部分の内容を生徒の言葉で短歌にして表現し交流させることで、我が国の伝統的な五音・七音のリズムにも親しませたい。

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。[知識及び技能]
- 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。[思考力、判断力、表現力等]
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。[学びに向かう力、人間性等]

(2) 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア ② 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ	① 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) ② 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	① 進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。

3 指導と評価の計画

(全3時間)

次	学 習 内 容	評 価			
		知	思	態	評価規準 (評価方法)
本質的な問い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 古典学習は現代生活にどのように生かせるか？ </div> 単元を貫く問い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 法師の失敗から、人はどのように行動すべきだと考えるか？ </div>					
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 課題の設定 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「徒然草」について概要を知る。 ・序段を音読し、古典のリズムに慣れる。 ・第五十二段「仁和寺にある法師」を音読し、内容を読み取る。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ○作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 (ア①/行動観察) ◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 (ア②/行動観察・ジャムボード)
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 情報の収集 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物「仁和寺の法師」の気持ちを考え、それが伝わるように朗読する。 ・「仁和寺の法師」が勘違いした理由を考える。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ○作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 (ア①/行動観察) ◎「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 (イ①/行動観察・ジャムボード)

3	<p style="text-align: center;">整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仁和寺にある法師」の失敗の原因と、どうすれば防げたのかを考える。 <p style="text-align: center;">まとめ・表現</p> <p style="text-align: center;">「学び合い」を取り入れた授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうすればよかったのか法師への助言を考えて、短歌にする。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (イ②/行動観察・ジャムボード) ○進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 (ウ①/行動観察・ホワイトボード)
---	--	---	--

4 本時の学習

(1) 本時の目標

失敗しない方法を短歌にして助言する活動を通して、伝えたいことを自分の言葉で表現することができる。

(2) 準備物

パソコン, Chromebook, テレビ, ワークシート, ホワイトボード, 振り返りシート

(3) 本時の学習展開

段階	○学習活動 ◆引き出したい生徒の言葉 (反応)	○指導上の留意点 ●配慮を要する生徒への支援	◇評価規準 ◆資質・能力 (評価方法)	配時
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。 ○全文音読し、前時の学習を振り返る。 ○本時のめあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○石清水, 極楽寺・高良の位置関係を確認させる。 ○登場人物の気持ちを考えて、伝わるように朗読させる。 ●ペアで相互読みして確かめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(ア①/行動観察) ◆主体性 (行動観察) 	10分
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【本時のめあて】 仁和寺の法師に「アドバイス短歌」を贈ることができる。 </div>				

<p>展開 ①</p>	<p>○法師のどのような点が失敗といえるのか《事実》。 [課題1] ○なぜそれが失敗だといえるのか《理由》[課題2] ○どうすればよかったのか《主張》[課題3] 三角ロジックで整理してまとめる。 [まとめ] [1] <u>ただ一人、かちより詣でけり。</u> [2] 一人なのでわからないままになってしまった。 [3] 一人で行かず、誰かと一緒に相談しながら行けばよかった。 [1] <u>極楽寺・高良などを拝みて、かばかりと心得て帰りにけり。</u> [2] 場所を知らなかった。 [3] 調べて行けばよかった。 [1] <u>そも、参りたる人ごとに山へ登りしは～山までは見ず。</u> [2] 人に聞かなかった。 不思議に思ったことをそのままにした。 [3] わからないことは聞く 思い込みで行動しないで確認する。 ○発表して共有する。</p>	<p>○ペアで2つ抜き出させる。 ○自身の経験と結びつけて考えさせる。 ●自分だったらどうするか、を考えさせる。</p>	<p>◇「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (イ②/ジャムボード) ◆課題発見・解決力 (ジャムボード)</p>	<p>20分</p>
<p>展開 ②</p>	<p>○どうすればよかったのか、考えたことを短歌にして表現する。[課題4] ◆「わたしなら事前学習怠らず準備してから旅に出る」</p>	<p>○失敗を防げた方策を考えることで、それが筆者の思いに通じることや、自分たちの日常生活にも生かすことができるということに気づかせる。 ○我が国の言語文化である五音七</p>	<p>◇進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 (ウ①/ホワイトボード)</p>	<p>15分</p>

	「わたしなら 皆山登るし気になれば 何かあるのか人に問う」 ○発表して共有する。	音の短歌のリズムのおもしろさ を感じさせる。 ●初句を指定して作りやすくす る。	◆主体性(ホワイトボード)	
ま と め	○本時の学習について振り返 りをする。	○振り返りシートに記入させる。		5 分

(4) 板書計画

<p>本時のめあて</p> <p>仁和寺の法師に「アドバイス短歌」を贈ることができる。</p> <p>「課題1」法師の失敗とは</p> <p>ただ一人、かちより詣でけり</p> <p>かばかりと心得て帰りにけり</p> <p>参りたる人ごとに く 山までは見ず</p> <p>「課題2」なぜ失敗だといえるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で行った ・徒歩で行った ・よく場所を知らなかった ・人に聞かなかった <p>「課題3」どうすればよかったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何人かで行けば誰かが知っていた ・途中まで舟で行けば場所を聞いた ・事前に行ったことがある人に聞いておく ・わからないことは尋ねて確かめる <p>「課題4」短歌「わたしなら」</p> <p>わたしなら 事前学習 怠らず 準備してから 旅に出る</p> <p>わたしなら 皆山登るし 気になれば 何かあるのか 人に問う</p>
--

(5) 評価基準 (ルーブリック)

・失敗しない方法を考えて、仁和寺の法師に助言をすることができる。

(思考・判断・表現：ルーブリック評価)

A	B	C
内容を読み取り、筆者のものの見方・考え方を踏まえてどうすればよかったのかを考え、法師に対して適切な助言を表現することができる。	内容を読み取り、どうすればよかったのかを考えて、法師に対して適切な助言を表現することができる。	内容を読み取り、法師はどうすればよかったのか、考えたことを言葉で表すことができない。

(6) 授業後の振り返り

○考えを引き出す手立てとして三角ロジックを用いることで、生徒たちは考えを整理することができ、教師は生徒たちの思考を可視化することができたことで、つまづきに応じた指導ができた。

○すべての生徒が参加する設定のためのICT活用が有効であった。

●生徒にとってやってみたいという必要感のある課題設定であったか。導入の問いの設定を工夫することで、すべての子どもが自ら考え行動する学びへとつながる。

●考えを広げたり、深めたりするためには、他者の意見と自分の考えを対比し、その上でさらに自分だったらどうかを再考することで、思考が深まる。